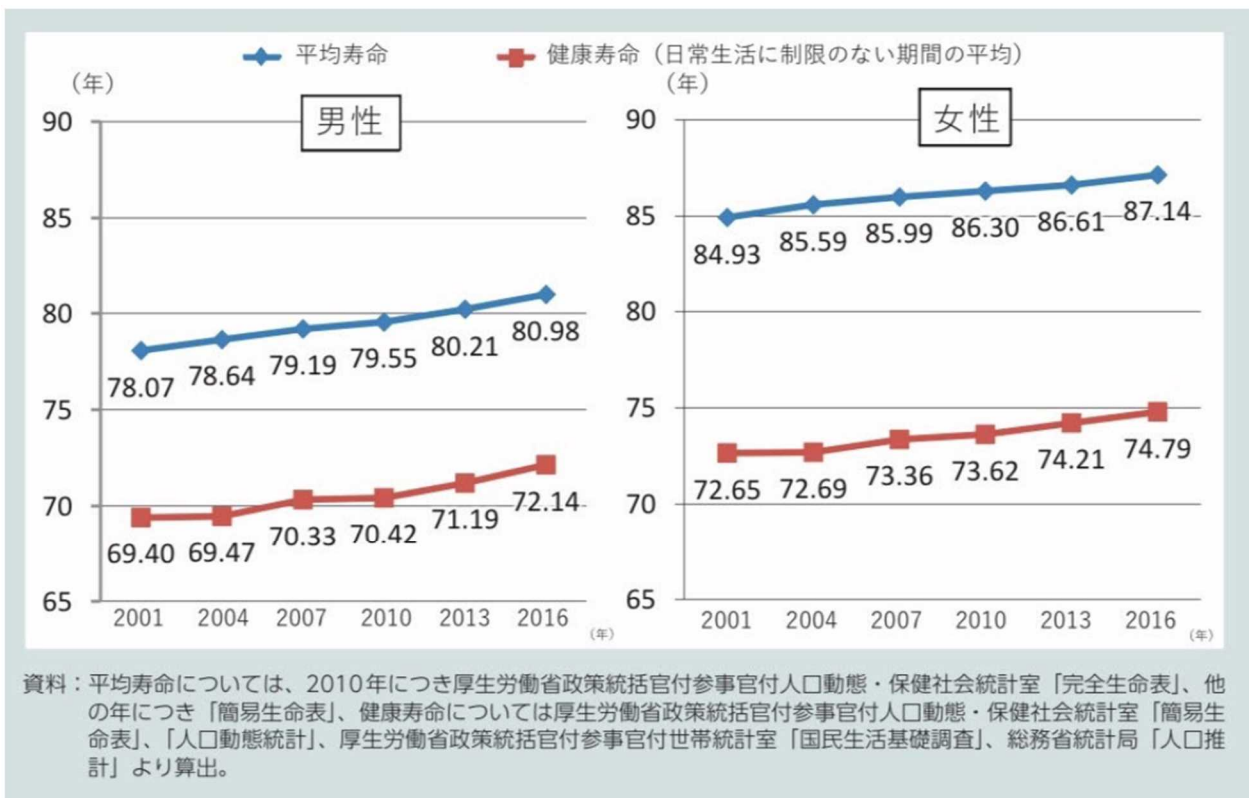


令和5年度 総合型選抜 課題探究型 総合考査【健康学科】

試験時間：60分

人生100年時代という言葉がよく聞かれるようになりました。令和2年版厚生労働白書には、以下の記述とともに平均寿命と健康寿命の推移の図表が掲載されています。

1989年、2019年、2040年の各時点で、65歳である人が90歳、100歳まで生存する確率を見ると、1989年においては男性の22%、女性の46%が90歳まで、男性の2%、女性の7%が100歳まで生存するとされていたのに対し、2040年においては男性の42%が90歳まで、女性の20%が100歳まで生存するとみられる。さらに、海外の研究では、2007(平成19)年に生まれた我が国の子どもの半数が107歳より長く生きることも推計されている。



出典：「令和2年版厚生労働白書」(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/content/000735866.pdf>

わが国の高齢者を取り巻く状況を踏まえて、以下の問いに答えなさい。

- 問 1. 高齢者が日常生活を健やかに過ごすために必要と考えられる社会的な取り組みについて、対象別(①健康な高齢者、②介護や支援を要する高齢者)に説明しなさい。
(300字以上400字以内。横書き)
- 問 2. 健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)の延伸は社会にどのような影響をもたらすか、あなたの考えを含めて述べなさい。(300字以上400字以内。横書き)